

## 18 産業フェスタみよし 2017

- 【日 時】 平成 29 年 11 月 5 日（日）9：20～14：30  
【場 所】 愛知県みよし市緑と花のセンター「さんさんの郷」  
【内 容】 以下のとおり

愛知中部水道企業団管内の市町で行われる産業まつりの前半として、「産業フェスタみよし 2017」に出展しました。当日は晴天に恵まれましたが風が強い天候となる中、ブースやステージイベントを目当てに多くの来客がありました。（\*主催者発表：38,000 人）

オープニングセレモニーは 9 時 20 分より始まり、実行委員長である小野田市長のほか、地元選出国會議員や友好自治体からも来賓が出席していましたが、旧三岳村の頃より交流のある木曾町からも原町長と栩本議長が出席しました。

当ブースでは、例年通り木工体験のヒノキ箸作りと観光パンフレット配布を行いました。箸づくり体験は、4 セットで対応しました。多くの来場者が農産物などの物販ブース目当てで来られるため、イベント開始当初は体験者がほとんどいませんでしたが、お待ちいただく方も出るようになりました。今年の体験者は 58 名でしたが、家族連れのほかお年寄りの体験者も多く、かんながけを懐かしがりながら箸づくりを行う方も見られました。

愛知中部水道企業団では、例年通りウォーターコインゲームやアンケートを行っており、来場者の長い行列ができ、景品である木曾の天然水入りペットボトルは、終了時間前になくなりました。

みよし市と友好提携のある木曾町からは、木曾町商工会三岳支部、中善酒造、芳香堂、長野県製菓、喜しろう、みたけグルメ工房、木曾町観光協会（順不同）がテント 4 張のブースで特産品の販売や観光 PR を行っており、各事業者の販売品は午前中に大半の品が売り切れました。

このほか、みよし市と交流のある北海道士別市や東北の宮城県女川町からも出展がありました。特に士別市ブースでは毎年ジャガイモなど農産物の即売会が好評で、今年は天候不順の影響で野菜の価格が高騰していることもあり、早々に売り切れていました。また、地元消防署のはしご車体験や自衛隊からの出展、飲食関係の各ブースも長蛇の列が出来ていました。

ステージでは、などのライブステージが行われるなど、終始多くの観客を集めていました。

◎ 当日の様子



オープニングセレモニー



木曾広域連合ブース



箸づくり体験の様子



観光PR (パンフレット)



愛知中部水道企業団ブース①



愛知中部水道企業団ブース②



木曾町ブース



はしご車の展示、体験